

令和4年度楠栖保育所事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 90名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	1	1	2	3	4	4	6	9	10	10	10	11	71
1～2歳児	17	16	16	17	18	19	18	17	17	17	17	17	206
3歳児	14	13	13	14	14	14	14	12	12	12	12	12	156
4歳児以上	25	24	24	24	25	25	25	23	23	23	23	23	287
計	57	54	55	58	61	62	63	61	62	62	62	63	720

(3) 職員数 令和4年度初 20名 令和4年度末 20名

(4) 職員の異動等

①採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R4.4.1	保育士		23	保育士	
R4.4.1	常非保育士		33	保育士	
R4.4.1	非常勤保育士		32	保育士	
R4.10.1	常非保育士		63	保育士	

②異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R4.4.1	保育士		37	保育士資格	配置換増←日宇保育所
R4.4.1	施設長		60	保育士資格	配置換増←佐々神田
R4.4.1	保育士		51	保育士資格	配置換増←佐々神田
R4.4.1	保育士		58	保育士資格	配置換増←佐々神田
R4.4.1	保育士		64	保育士資格	配置換減←ルンビニ
R5.3.31	保育士		37	保育士資格	配置換減→日宇保育所

③退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R4.7.31	常非保育士		33	保育士	一身上の都合により
R4.11.30	常非保育士		64	保育士	一身上の都合により
R4.12.31	保育士		24	保育士	一身上の都合により
R4.3.31	非常勤保育士		33	保育士	一身上の都合により

(5) 職員会議の開催状況

職員会議は毎月2回以上開催し、保育に支障のない範囲で職員が参加し、職員全員が共通認識を持ち、各クラスの様子やの保育の内容の確認、気づき、行事等の打ち合わせ、反省を行い、今後の課題を話し合った。保護者からの意見や問い合わせがあったときは緊急に会議を行い迅速な対応を行うようにした。

新聞やメディア等で幼児に関する記事についても、意見の交換をし、確認を取り合った。又、感染症対策のために、行政からの通知や情報を職員間で共有し、感染防止に努めた。

給食内容検討会は月1回開催し、月の献立、各クラスの嗜好や喫食状況を報告し合い、咀嚼が苦手な子、嚥下が上手に出来ない子の対応を検討した。食事のマナーに関しても年齢別に指導の仕方を話し合った。

全ての会議は記録を取り、全職員に周知した。

2 保育の実施状況

「命を大切に」の理念を柱に保育課程、年齢別年間指導計画を立て月、週、個別の指導計画に基づき、漢字保育をはじめとする様々な活動や遊びを展開し、メリハリのある保育を心掛けた。

子どもの健康状態を把握するための健康カードの配布、保育中の体温計測、職員体温計測、マスク着用(職員)、玄関入り口のアルコール消毒設置、クローラ水を使用しての手指や玩具、施設内の消毒、保育室への園児・職員以外入室制限を行い園での感染予防対策を行った。その中でも感染レベルが下がった時期に行った運動会、お遊戯会には入場の人数を緩和しなるべく沢山の保護者に参観してもらった。また、初めて行った自由参観には全児童の保護者が参加し好評を博したので、恒例にしていきたい。

食育においては、竹林の筍の皮むき、園庭での野菜作りを行った。水やりをしながら野菜の成長の観察、収穫した野菜は給食室の調理員に調理をお願いし給食に出してもらった。野菜が苦手な子も自分たちが作った野菜は嫌がらずに食べていた。また、年長児には調理の体験として、おにぎりやおやつ作り野菜のカットなどの体験を行った。子どもたちがたくさん体験をし、見分を広められるように取り組んだ。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数(月・週指導回数)	委託先名
幼児体育指導		毎週金曜日午前10時より 年間19回	いむら体育教室
漢字保育指導		年7回 午前9時30分より 年間	登龍館
英語あそび指導		毎週火曜日午前10時より 年間35回	ECC

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
R3.4.3	入所式・進級式	4.14	バスハイク
4.18	バスハイク	4.21	誕生会（4月）
4.22	バスハイク	4.28	防災訓練
5.7	親子遠足	5.18	内科検診・尿検査 防災訓練
5.20	バスハイク	5.25	誕生会（5月）
5.27	バスハイク		
6.1	バスハイク	6.3	歯科健診
6.6	交通安全教室	6.9	バスハイク
6.15	芋差し遠足	6.16	佐世保市美しかプロジェクト花植え
6.22	誕生会（6月）	6.27	防災訓練
6.29	バスハイク		
7.7	七夕会	7.11	総合グラウンドプール
7.20	誕生会	7.26	防災訓練
8.2	夏祭りごっこ	8.8	交通安全教室
8.24	誕生会（8月）	8.26	防災訓練
9.8	誕生会（9月）	9.27	運動会総練習
9.28	防災訓練		
10.8	運動会	10.12.13	施設慰問
10.18	内科健診	10.19	尿検査・防災訓練
10.20	誕生会（10月）		
11.2	芋ほり遠足	11.10	誕生会（11月）
11.11	施設慰問	11.13	小佐々地区文化祭参加
11.18	防災訓練		
12.3	お遊戯会	12.14	誕生会(12月)
12.19	バスハイク	12.23	クリスマス会
12.26	総合防災訓練		
1.20	卒園写真撮影	1.25	誕生会（1月）
1.27	楠栖かるた大会	1.31	交通安全教室
2.2	節分会	2.3	凧揚げ大会
2.9	防犯訓練	2.15	誕生会(2月)
2.17	マラソン大会	2.24	バスハイク
2.28	楠栖サッカー大会	2	
3.1	縄跳び大会	3.2	雛祭り・誕生会（3月）
3.9	バスハイク	3.10	防災訓練
3.17	お別れ会	3.18	卒園式
3.22	バスハイク		

5 職務分担表（令和4年度最終版）

R5.3.14

職名及び氏名	職務内容	
所長 田島 順子 苦情解決責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成) 4 財務管理	5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との 連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
主任保育士 苦情受付責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指 導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付責任者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	*桜組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*堇組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*桃組の担任	
保育士 看護師	*蒲公英組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検	
保育士	1 共通遊具の整理、保存	
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 図書の管理
保育士	1 交通安全に関すること	
保育士	1 避難訓練に関すること	
主任保育士 看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備・保管 3 検便に関すること	4 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること
保育士（衛生推進者）	1 衛生推進に関すること	
保育士（食育担当者）	1 食育に関すること	
保育士	1 延長保育事業に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検 収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年月	工事名	金額（円）
なし		

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年月	物品名	金額（円）
なし		

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

保育の質の向上を図るため、自らの行う保育について常に子どもの視点に立って自己評価を年2回に分けて行なう。年度末には自己評価をもとに所長と職員の個人面談を行い、一年を振り返り、反省を踏まえ、次年度の目標を立てるようにした。また、各自で保育のセルフチェックを行い、チェック後は話し合いを行い、不適切保育の対策を行った。

(2) 保育所における自己点検、自己評価

今年度、所長、主任が代わったこともあり、何度も話し合いを行い共通認識を持って、協働性を高めるようにした。自己評価からクラス単位で評価を見直し、最終的に施設長の責務のもと保育所全体への点検・評価につなげた。評価の結果をふまえ、当保育所の保育の内容の改善を図り令和5年度の全体的な計画に反映した。園全体の評価を4段階で表した。外部への公表も行い当所の現状及び改善点から明らかになり、来年度の保育の向上につなげた。

8 職員の研修参加状況

インターネットの接続が出来たこともあり、出来る限りの研修に参加した。

研修後は研修報告を行い、全職員に内容を共有するようにした。福祉法人内の公開保育研修も再開され保育に無理がない時には出来る限り参加した。

年月日	研修会名	参加者名
4/22	長崎県保育協会 食育研修（Web）	
4/27	長崎県保育協会 食育研修（Web）	
5/12	食品衛生責任者養成講座講習会	
5/20	長崎県保育協会 初任者研修（Web）	
7/22	長崎県保育協会 主任・主幹研修	
9/1.2	防火管理者講習会	
10/18	長崎県保育協会 保健研修	
11/10	長崎県保育協会 保育士部会研修会（Web）	
11/10	長崎県保育協会給食担当者研修	
12/7	佐世保市幼児教育センター 要録に関する研修会	

キャリアアップ研修

12/14～12/23	幼児教育 eラーニング	
12/14～12/23	障害児保育 eラーニング	
1/11～1/20	食育・アレルギー対応 eラーニング	
1/11～1/20	マネジメント eラーニング	
1/11～1/20	保健衛生・安全対策 eラーニング	
1/11～1/20	保健衛生・安全対策 eラーニング	
2/1～2/10	保護者支援・子育て支援 eラーニング	
1/30 1/31 2/1	保護者支援・子育て支援 DVD 集合研修	

針尾福祉会主催の研修実施状況

漢字保育所内研修 年 7回 5/13 6/24 8/19 10/21 11/17 12/22 2/10

法人内研修 公開保育研修参加 11/29、12/5、12/8、2/24

9 苦情処理受付状況

- ・意見・要望・苦情・不満 受付件数 1件

親子遠足の日をコロナ感染症が近隣で広がりつつあったので変更したが、そのままの日がよかったとの意見があった。

- ・対応

状況を説明し、参加できるか聞いたところ、参加できるとのことで、当日は納得して参加された。

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 楠栖保育所 ）

・ A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い
B：良い
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的な計画を設定しているか。		○			地域の状況や保護者と関わる保育所の実態に照らし合わせ全体的な計画を見直し、前年度の反省を生かして今年度の全体的な計画を作成した。広い園庭を活用し子どもたちが元気に遊べる環境を生かした保育に努め、さらに体力向上に努めた。 保育目標は全職員で検討し、共通理解を深めていく様に努めた。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			各クラス、月齢や実態に即した指導計画を作成する様に努めた。 個々の子どもの個性を尊重しながら見通しが出来る保育を心がけ、安心して通えるよう、また安心して預けられる場となるように全職員で努めた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。			○		
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			コロナの感染レベル等で変更せざるを得ないときもあったが、工夫しながら行うようにした。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年間計画を立てて進めた。感染症のレベルで日程の変更等もあったが、構成や内容を工夫しながら行った。 外の活動を増やし、感染対策はもちろん、体力増進、健康な体づくりを行った。 活動後は反省、注意点などを話し合い、今後に生かせるようにした。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職務分担表で職員の職務内容を明確に、シフト表を早く掲示し職員の配置、役割がわかりやすい体制づくりに努めた。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		職員会議を定期的にまた、必要に応じて開催し、会議内容を明確にすることにより問題提起、情報共有を全職員で行った。全職員が関わることで、問題の改善、全員周知につながった。今年度さらに協力体制を作っていきたい。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 組 織	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○		年齢別、クラス目標は子どもの遊びや生活を通して、乳幼児の実態に即して設定した。週案、日案等で目標、ねらいに即しているか確認した。 各クラスが同じ目標に向かうように共同理解を深めるようにしたが、とらえ方の違いが見られることもあり、さらなる努力が必要だと感じた。 同年齢、異年齢の関わりは行事や活動の中で出来る時に行った。核家族が多くなる中、異年齢をいたわり世話をする大切さを学べた。 諸記録、資料等は回覧し、すぐに確認できる場所に集積した。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。		○		訓練・指導を年間計画に基づき適切に実施することが出来た。 日々の健康管理、内科健診(年2回) 歯科健診、尿検査(3歳以上)を行い、園児の健康管理に努めた。 交通安全指導は年3回行い、無理のない年齢から参加して楽しんだ。 家庭・関係機関との連携は行っている。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。(コロナの状況で1回のみ)	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
	研 修	所 内 研 修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		漢字保育の職員間の園内研修をしてする側・見る側の刺激になり各々の学びにつながった。 新聞やメディア等の幼児に関する記事について職員間で回覧し日々の保育に生かすことが出来た。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
			(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
所 外 研 修		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		Web研修が自園で出来るようになり、時間を考慮しながら参加できた。研修内容は他の職員に報告し共通理解に努めた。	
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				個人情報保護法に関して全職員で共通理解の下、慎重かつ適切に取り扱いを行った。 公文書、各諸表は適切に行っていた。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				施設内点検・日常の点検・遊具用具の点検は点検票を作って職員が確認し、さらに専門業者による定期点検を行う事で適切な管理や使用を行った。 玄関は防犯カメラ付きオートロック仕様で来所者の確認をして園内から解錠する仕組みになっている。 不審者対応は防犯訓練を行ったり、専門業者による警備等の安全対策もとった。 必要に応じて、情報の提供の掲示を行った。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正な処理が出来た。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			年間計画を作成するまでは行った。感染レベルが上がり計画通りには出来なかったが、小学校からDVDで案内をもらったり、お礼を作成したりと子ども同士の交流は出来、就学前は文書、電話で情報交換を行った。 保幼小連携会に出来るだけ参加し、情報交換を行った。 今年度は交流活動を再開していきたい。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。		○			感染レベルを確認しながら参観を行った。3年ぶりの参観に保護者から喜ぶ声が沢山上がり、今年度に繋がっていききたい。 地域文化祭の再開に合わせ、文化・演芸両面で参加した。施設訪問も再開し各施設から喜ばれた。今後に繋がりたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開 か れ た 保 育 所 づ く り 評 価	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	子育て相談は随時応じるように事務所にて行った。地域の担当保健師と連絡を取り合い情報交換は行っている。 遊ぶ場の提供は出来なかったが、一時保育を実施し、地域の子育て相談を行った。異文化の交流にもつながり園内の在園児に良い影響を与えている。
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			園だより・給食、保健だよりは毎月配布している。月初めにホームページで行事予定や情報を発信している。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	保護者からの意見など可能な限り保育運営に反映し、園だより、ホームページにて公開した。
	(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			内容は職員会議で周知し、検討して保育に繋げた。	